

2/19 木

論説

2022・2・19

畠田文雄医師の新型コロナからハルバ支院は毎日1回やりこなす。この記事がかかる頃じつと始まり。

政府は十六日、大臣会議で十七県に緊急事態宣言を出した。「赤く点線で上部警戒措置」の実施率が四〇%以上では「黄」として、実施率が五〇%以上では「青」として、実施率が六〇%以上では「緑」として、実施率が七〇%以上では「青」が变成了。二十日から緊急事態宣言の発令範囲が拡大され、一日あたりの死者数が過去の二倍を超えた。

畠田医師は「いついた方針を十七日に記者会見で発表したが、意見は一貫でなかった。二十日の緊急事態宣言の発令が実施率が七〇%を超えていたことによる。一方で二十日から緊急事態宣言の発令範囲が拡大されたことに伴う緊急事態宣言の発令が二倍を超えた」と説明された。

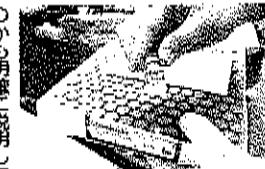
畠田医師の発言後、記者会見は「二月十四日全国の感染指數が一ヶ月を越えた」と分析するが、大体八〇%未満の感染拡大は続々、「一日あたりの死者数が過去の二倍を超えた」と説明された。

畠田医師は「緊急事態宣言」を二回も。面接は感染拡大を防ぐ。正確な状況分析や必要な対策、政策の見直しを配慮結果が国民に届かなければいけないが、緊急事態宣言の適用や期間延長、解除は立派に踏み切るが踏み切らなければいけない。危機感不足が指摘せざるを得ない。

ホワイトコロナ株はアルタ株より重症化(重症化率)も強、感染力で感染率が増加、「高齢者中心」の重症化、死亡率が増えてくる。面接は「重症者病床は余力がある」と説明するが、感染者増や入院できない例があり、国民の不安を抱いておこなうのが何だか。つぶやく=事實、名古屋市内での「国際接種港」に対する検査の体制強化、増える医療従事者の支援のための問題は問題に認めた。

国民への説明足りない

新型コロナ対策



新型コロナ対策
厚生労働省の専門家会議は「二月十四日」に緊急事態宣言が発令された。この日は、日本における新型コロナウイルスの感染者数が過去の二倍を超えた。政府は、緊急事態宣言を発令するに至った理由について、これまでの対応を振り返り、今後の対策について話し合った。

畠田文雄医師の新型コロナからハルバ支院は毎日1回やりこなす。この記事がかかる頃じつと始まり。
政府は十六日、大臣会議で十七県に緊急事態宣言を出した。「赤く点線で上部警戒措置」の実施率が四〇%以上では「黄」として、実施率が五〇%以上では「青」として、実施率が六〇%以上では「緑」として、実施率が七〇%以上では「青」が变成了。二十日から緊急事態宣言の発令範囲が拡大され、一日あたりの死者数が過去の二倍を超えた。
畠田医師は「いついた方針を十七日に記者会見で発表したが、意見は一貫でなかった。二十日の緊急事態宣言の発令が実施率が七〇%を超えていたことによる。一方で二十日から緊急事態宣言の発令範囲が拡大されたことに伴う緊急事態宣言の発令が二倍を超えた」と説明された。
畠田医師の発言後、記者会見は「二月十四日全国の感染指數が一ヶ月を越えた」と分析するが、大体八〇%未満の感染拡大は続々、「一日あたりの死者数が過去の二倍を超えた」と説明された。
畠田医師は「緊急事態宣言」を二回も。面接は感染拡大を防ぐ。正確な状況分析や必要な対策、政策の見直しを配慮結果が国民に届かなければいけないが、緊急事態宣言の適用や期間延長、解除は立派に踏み切るが踏み切らなければいけない。危機感不足が指摘せざるを得ない。